

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【公開番号】特開2006-110989(P2006-110989A)

【公開日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【年通号数】公開・登録公報2006-017

【出願番号】特願2005-211585(P2005-211585)

【国際特許分類】

B 2 9 C 37/02 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月22日(2008.7.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

略矩形の樹脂板の端面を溶融処理する樹脂板用端面処理装置であって、
上記樹脂板を所定位置に位置決めする位置決め手段と、
位置決めされた上記樹脂板の端面の所定部分に赤外線を照射して上記端面を加熱する赤外線照射手段と、を備え、
上記赤外線照射手段は、赤外線を発生させる赤外線源と、この赤外線源が発生させた赤外線を上記樹脂板の端面の所定部分に集光する集光手段と、を有する、
ことを特徴とする樹脂板用端面処理装置。

【請求項 2】

上記赤外線源と上記樹脂板の端面の前記所定部分との間に配置され、上記赤外線の照射領域を制限するスリットを備えた照射領域制限手段を更に備えている、
請求項 1 記載の樹脂板用端面処理装置。

【請求項 3】

上記位置決め手段が、上記樹脂板を所定角度回転させる回転手段を備えている、
請求項 1 または 2 に記載の樹脂板用端面処理装置。

【請求項 4】

上記赤外線源は、上記樹脂板の端面の前記所定部分に赤外線を照射するように上記樹脂板の斜め下方に配置されている、
請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の樹脂用端面処理装置。

【請求項 5】

上記スリットが閉鎖または移動可能に構成され、このスリットの移動により上記端面への赤外線の照射が調整される、
請求項 2 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の樹脂板用端面処理装置。

【請求項 6】

更に、上記位置決めされた上記樹脂板を固定する固定手段を備えている、
請求項 1 記載の樹脂板用端面処理装置。

【請求項 7】

上記固定手段は、少なくとも表面が断熱材で形成されている、
請求項 6 記載の樹脂板用端面処理装置。

【請求項 8】

上記樹脂板が、導光板である、
請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の樹脂板用端面処理装置。

【請求項 9】

請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の樹脂板用端面処理装置を用いる導光板製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】樹脂板用端面処理装置及びそれを用いた樹脂板の製造方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、樹脂板用端面処理装置及びそれを用いた樹脂板の製造方法に係り、特に、樹脂板の端面のばりを赤外線によって溶融除去する樹脂板用端面処理装置及びそれを用いた樹脂板の製造方法に関する。